

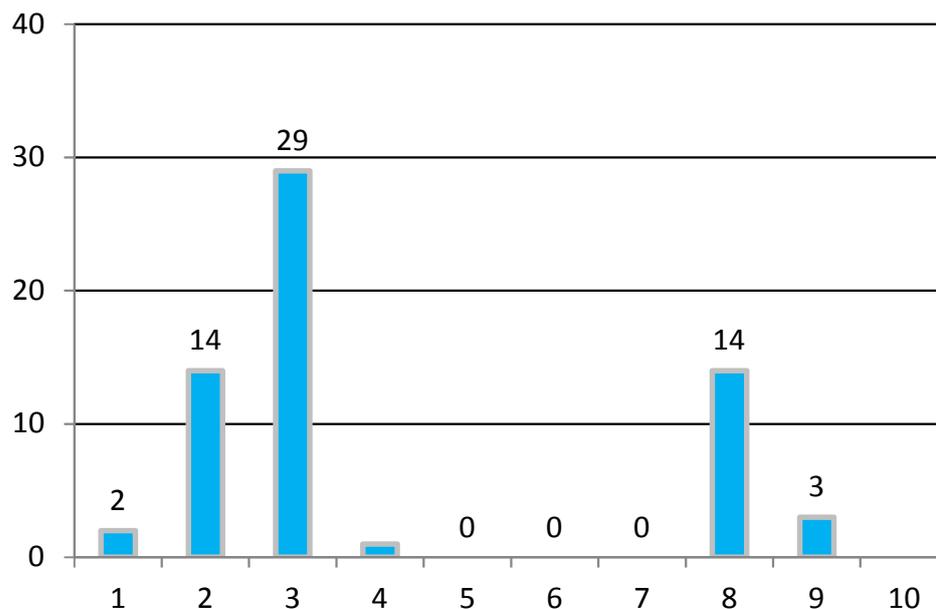
## H28年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/グラフ

### [1] 回答者数

MC1	55
MC2	3
DC1	2
DC2	3
DC3	0
DC4以上	0
PD	1
その他/教員など	0
未回答	1
計	65

### [2] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院  
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院  
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



## H28年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容
<b>[2]講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。</b>	
1	今のうちに全力でインプットしたいです。
2	セサミンの効能、その有効性についていくつもの科学的根拠が挙げられていたことが印象に残った。
3	特に花王の川本さんの話は年も近いということで興味を持って聞けました。どういった経験が役に立っているかや、どういう考えをして人生を歩んできたのかということがわかりやすく、今後の参考にできると思います。
4	様々な事業事例から、企業の社会貢献の在り方にも様々な切り口があるということを実感しました。企業は自社製品を通じてしか社会にアプローチしていけない、社会への影響が弱いのではないかと感じていた私にとって、とても刺激的なお話でした。企業が新事業を含めてどういったことをしているのかよく調べて自分の理想の働き方とのマッチングを行うことが重要。
5	企業に就職を希望しているが、企業の研究職は何をしているのか具体的に知らなかったので、生の声を聞いてよかったです。
6	企業での研究職の仕事、キャリアステップが少しはイメージできた。研究職で就職して、マーケティングなどの事務系で働くこともあるのが印象的だった。
7	たくさんの先人のキャリアについて聞いたことは参考になりました。
8	様々な働き方があることを知った。
9	ホームページや説明会では聞けないような貴重なお話を聞くことができ、業界やその企業のことを知る大変良い機会となった。
10	初めて大企業の人と直接話をして、企業に入ってくる人について思うことを聞いた。
11	様々な企業、業種、年齢の方のお話を聞くことで、入社してから退社するまでのキャリアがどうなるか、なんとなくであるが想像することができた。特に花王の方の話では、年が近いということもあり参考になった。
12	企業の裏側を知ることが出来てよかったです。
13	仕事内容が知れてよかったです。入ってからも担当(?)がいろいろ変わることがわかって就活に柔軟になれそうです。
14	入社後どんな仕事をするかわからないこと。
15	これから就活までに自分が何をすべきかイメージが湧いた。どこの企業に入社しても英語が必要になるのだと知った。
16	川本さんの話を聞き、博士での就職活動に若干の希望が見えた。
17	博士号取得者への評価が今後高くなってくるとよいなと感じた。
18	今、大企業で活躍されている大先輩のお話を聞いて、将来自分が企業に就職したら何をしたいか、少し具体的に思い描くことが出来ました。成功なさっている先輩の苦勞された話を直に聞くことが出来て今後の指針の参考になりました。

19	研究職に就きたくても、又は専門を生かしたくても大学時代はそれに拘わらず多様な視点を持つておくべきだと感じた。
20	川本さんが「学校の研究って遅いですかね？」とおっしゃっていたのに対し、新免さんは「大学はアカデミックであり、スピード感が違うかもしれない」とおっしゃっていたのは、やはり研究室ごとに大きく違うもので縁なんだなあと思った。
21	特に若手の方のお話が参考になりました。
22	年の近い花王の方の話が参考になりました。企業の活動のイメージが話を聞く前後でずいぶん変わって新鮮でした。
23	川本さんの話を聞いてとにかく今は興味のある事をやってみようと思った。そうすることで将来自分が就いた仕事にも、おもしろさを見いだせるのではないかと、また自分の幅を広げられると感じた。
24	4人の先生方すべて参考になりましたが、特に年齢の近い川本さんのお話が面白かった。
25	私は博士に進学しますが、企業で求められている能力は大学の研究室で必要とされている能力と合致すると思いました。また、与えられた環境で自身が目的、ゴールを設定して毎日ハッピーに過ごすことが重要という印象を受けました。
26	普段聞けない話や、社会人との接点があるよかったです。
27	発表者の皆さんの何故このキャリアを歩んできたかや、その背景を知れたことがとても参考になりました。
28	博士課程に進んでいるのですが、企業で欲しい人材として専門知識だけにこだわらない視野の広い人が良いということがわかった。
29	企業、会社の大前提である経済、ビジネスといった観点で改めて考えさせられた。収益性をいかに確保するかという課題意識に加え、社会との関係性、信頼関係の管理にまで活動を展開していく姿勢に強い印象が残る。
30	企業と大学の研究が近い。
31	今回来ていただいた企業について、業務について知ることができてよかった。講師の方の素直な話を聞いてよかった。
32	それぞれの企業の社風や詳しい業務内容がよくわかった。
33	企業の研究開発はゴール設定（製品化）が重要視されることが印象的であった。チームにおける連携が重要であった。
34	講師の方のプレゼンテーションスキルの高さを見習いたい。
35	企業の考え方、ゴールを見据えて研究を行うこと。消費者のニーズを知ること。その企業らしさ。（その企業だからこそ提供できること）
36	いろんな企業の方が様々な話をしてくれて楽しかったです。話を聞いてみて、研究を進めていく上で、成功していく上で、皆さんを見ていくとコミュニケーション能力が大切なんだと感じた。
37	自分が専門としていない分野の企業での業務とそれに携わる方々の話を聞くことが出来てとても参考になりました。また、研究においてまだ足りていない点に気付くことができる話が特に印象に残りました。
38	個人情報や実は色々ところで収集されていて、想像もしなかった利用がされていたという点。セサミンはうさぐさいもののだと思っていたが、エヴィデンスがあるのだという点。
39	HPでは載っていない失敗事業が知れて参考になりました。また、会社の雰囲気を知れてよかったです。

40	大学での研究と企業の研究との間にある違いだけでなく、通じる部分の話を聞いた点。
41	花王の利益に直結しない研究をSocietyへの貢献のためとして多く行っていること。それで成立していることは印象に残りました。
42	学部から企業に就職した方や修士、博士からの就職などそれぞれ違った人生観や考え方を知れたのが良かったです。また、企業に行ってから博士号をとるという選択がなかなか多いことを知れた。
43	今回4人の先生方にご講演していただきましたが、研究に対する思いや考え方が異なっていて興味深かった。
44	研究とビジネスのつながりの難しさを感じた。また研究を社会へ応用する大切さと同じに難しいことを再認識した。自分の生活が成り立っているのは様々な企業の商品・サービスで支えており、企業の興味がわいた。
45	企業の様々な特徴や本音が聞けて参加してよかったです。
46	人生の転機・チャンスに対して、どのように受け止めるかによって、仕事の広がりや今後の転機が異なること。
47	今回様々な業種の講師のお話を聞いて、共通して印象に残ったことは、常に製品・開発・研究・業績と共に、人と人との縁であったり、つながりが結びついているということ、人との出会いが新たな研究のタネを生んだり、アイデアが生まれる機会があるのだと感じた。常に消費者目線で製品の開発、改良に努めてくださっているのだと各企業の努力が感じられた。
48	佐古さんの現代社会におけるセキュリティの重要性と情報に関する危機管理の難しさ。
49	どの企業も大手であり働いている人の話を聞くことが出来てよかったですと思う。大学と企業の研究で、どこが違ってどこが同じなのか勉強になった。しかし、講演時間が1人約2時間というのは長い。他に実験もあるのだからその点も考慮して欲しい。質問したい人は手を挙げて行う、成績には入れない、成績は出席レポートのみで決めるというふうにして欲しい。質問用紙を提出したら強制的に突然発表させるのもどうかと思う。当てられるのなら質問をやめる人もいると思う。→講演時間ですが、2日間のスケジュールで1単位を出すには決められた講義時間が要求されます。よっておひとり2時間ということになっています。成績に関しては出席とレポートでのみ決定します。文部科学省からも求められていることですが、一方的な講義ではなく、双方向の論議を呼び起こす講義を目指しています。日本人（特に私見ですが北大生は他のRU11大学に比して講義中おとなしい・・・）に足りないディスカッションやコミュニケーションの力を伸ばすために少々強制的にでも機会を作る必要があるのではと考えています。これだけいて質問が出ないなんて、わざわざ業務の時間を割いて札幌まで来ていただいている講演者に対しても失礼です。企業に就職したら会議で発言しない人は出て行け、とまで言われることがあります。つまり、会議出席者はテーマに対して何らかの意見を述べて全体の進捗に貢献する義務があるという考え方です。このような雰囲気も知ってもらいたいと思っています。（樋口）
50	企業での具体的な業務内容に加え、働いている人がどのような意識で仕事に臨んでいるのかを直接伺うことが出来て大変参考になった。また、働くことは良い意味でも悪い意味でも思わぬことの連続（キャリア、出向、業務など）であるということがわかり、実際自分が働く際には臨機応変に対応出来るように、専門にこだわらず幅広い視野を持てるように努力しようと思う。
51	住友化学の坂本さんが「流れ」で現職に就かれた一方で花王の川本さんが「縁」の大切さをお話したりとこえからのキャリア形成には自らつかみにいくイメージを持った。→両方の側面があると思います。（樋口）
52	4人の講師の方が違った視点から講演をしていただき新鮮でよかった。もともと希望していた分野で仕事をしている人もそうでない人もそれぞれの仕事に自分なりの向き合い方をされていて印象に残った。
53	サントリーの新免さんのセサミンが売れるようになるまでの努力が印象に残りました。
54	キャリアマネジメントセミナーでも聞きましたが、やはり、分野がコロコロ変わる場合とずっと同じまたは似た部門にいることがあるということ。研究者でもそうですから、研究が好きな人は営業に行ったら嫌だろうなと考えていましたが、それでもやめずにやっていらっしやるので社会人とはそういうものなのだと考えさせられました。
55	企業の実態について、より深いことまで理解することが出来、大変満足です。働くことは面白そうな部分もありますが、難しく大変そうでもあると感じました。

56	キャリアパス、研究職の実態が知れてよかったです。
57	サントリーの新免さんは自社を愛する気持ちが感じられ、製品や事業への取り組みに誇りを感じていらっしゃる事がよくわかりました。一方でなぜ自分がこの仕事を・・・？という講演者の方もいらっちゃって、社会人も様々な事情があるのかと汲み取りました。前者のような働き方がしたいと思いました。
58	お子さんが幼い頃からご活躍されている女性の姿を拝見できて、今後のワーク&ライフバランスの取り方について再考するきっかけになりました。
59	失敗例が多く示されており、チャレンジ精神が必要だ、という印象が残った。失敗しても投げ出さず、やり抜く姿勢が参考になった。企業は結果に至るスピードや特許が求められており、アカデミックな考え方とは違うなと感じた。

**[3] 今後、Advanced COSA(1)で講演してほしい講師の分野(企業/業種)を教えてください。**

1	IT関連の分野
2	化粧品業界、マテリアル系の業界
3	農業、環境、エネルギー
4	コンサル、外資系メーカー
5	JA全農、ホクト、日清などの農業・食品系
6	カネカ(化学)、カゴメ(食品)
7	理系出身から出版、メディア
8	食品業界(森永乳業などの乳業やテーブルマークなどの冷凍食品会社)の方のお話をお聞きしたいです。
9	広告業、食品、建築
10	食品、医療、女性の総合職&研究職
11	食品、製薬
12	企画の人の話を聞きたいです。
13	基礎研究
14	製薬会社の話も聞いてみたかった。日系の企業だけでなく外資系の企業の話も聞いてみたかった。
15	農業関係
16	製薬系、医療機器系
17	化粧品業界のマーケティング又は研究開発。ホテル業界のマーケティング。ブライダル。

18	メーカー（機械系等工学的分野）
19	電機、商社
20	食品、商品開発
21	消費材メーカー（トイレタリー、化粧品など）。食品、総合商社
22	産学連携について起業だけでなく、官公庁からの考え（理系の視点）について
23	種苗会社、農業関連
24	総合商社。自動車業界、スポーツ用品メーカー。
25	工学系の話にあまり興味がわかなかった。
26	化学メーカー、医療機器メーカー
27	金融やメーカーの中でも事務系の方のお話もお聞きしたいです。
28	製薬会社
29	研究者、技術者として考えるビジネスプラン、企業戦略について。時間軸のバリエーションがあると面白くなると感じた。例えば短期的な経済効果を期待する企業と長期的な視点または特段収益性を追求しないものなど対比できるとよい。
30	造園、緑化
31	種苗会社、食品会社
32	基礎研究分野など直接には商品のためにならないような研究分野
33	製薬業界、化粧品、ベンチャー
34	生物関係のベンチャー
35	製薬企業、中小企業
36	農薬系、林業系
37	電子開発（人工知能、サーバーなど）に関わる企業に講演してもらいたいと思いました。
38	マスコミ、とかコンサルなどすごく畑が違いそうな人の話しも聞いてみたい。
39	理系でない分野の話も聞きたい。メーカーだけでなく商社インフラなど。
40	化学メーカーで研究を続けている方の講演を聞きたい。

41	食品企業、マネージメント業
42	製薬メーカーや菓子メーカー
43	メーカーは問わないが、知財部の人のお話を聞きたいと思った。今回の講義で特許について興味を持ったので。
44	農薬等の一次生産の分野
45	食品（開発、品質管理）
46	金融関連、レジャーエンタメ、製造（農・水産関連）
47	物流、報道、サービス
48	医薬、製薬関連の企業も聞いてみたい。
49	酒造、化粧品、食品添加物
50	国の研究機関、研究開発法人等
51	技術エンジニア系の方にも講演していただきたい。
52	技術営業について。
53	理研、研究
54	開発、研究、営業職
55	水産系の食品会社
56	化粧品、香料、塗料
57	種苗系

**[4] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。**

1	企業の方のお話を聞いてよかったと思う。研究職以外のお話も聞きたい。
2	クリッカーのようなアンケートが初めてで楽しかったです。
3	性別、業界、年齢が異なる様々な立場の方から企業の実情についてお話を聞くことが出来、短い時間でしたがとても濃い2日間でした。今後自分が就職活動をする際の新たな視点を持つことが出来ました。
4	参加してよかったと思っています。ありがとうございました。
5	講義を通じて企業の事業の実際に加えて研究者としての具体的なキャリアパスのお話がとても興味深かったです。

6	昼休みがあと30分欲しかったです。失礼ながら寝てしまいました。→今後の検討課題とします。(樋口)
7	とても参考になる話が聞けました。割と来てくれた方々もゆるく話してくれたので聞いているほうも気楽に聞けました。ありがとうございました。
8	調べたら出てくる制度や業務には時間を割かなくていいと思う。講師の方の「人」に注目してお話を聞きたかったです。「やりがい」など。質問の流れ等が気になって、質問がしにくい空気があると思う。→前半は「企業活動と業務内容」、後半が「講師の起業人生」というおおまかなテーマでお願いしています。質問がしにくい空気とは??その前の質問は断ち切って新しい視点でどんどん出してほしいです。(樋口)
9	学生から企業の方に直接質問できる場がなかったので、大変興味深い内容を生の声で聞くことが出来てよかったです。
10	質疑応答がおもしろかったです。もっと色々な分野の企業さんのことについても聞いてみたいです。
11	これから就活をはじめると、4名のお話は大変参考になった。4名のお話で共通していたのは欲しい人材というのは精神的にも体力的にもタフである人であるというのがわかった。
12	とてもためになりました。
13	様々な分野の企業の方のお話を聞くことができて参考になった。
14	講師の方のキャリアについて詳しく聞くことが出来、非常に参考になりました。
15	クリッカーを使用する機会がもう少し多くてもよい気がした。→講師の方に直前にお話したので、これから気をつけます。(樋口)
16	良かった。休み時間を長くして、回数を減らして欲しい。
17	上司との関係に至るまで、企業の中でもものすごくリアルな部分に踏み込んだお話が興味深かったです。若手の研究員の方のお話がとても参考になりました。
18	思ったより参加者が少なく、座席も余っていたのもっと多くの学生に広めて参加者を増やさないともったいないと思った。→そうなんです。今回の札幌キャンパスは60人くらいでしたが、多い時は130名位いた年もあります。ただ、実験や他の講義とのバッティングは事前にわからないので避けるのは難しいです。(樋口)
19	懇親会で企業の方と直接話し、今まで聞きたかったことを聞けてよかった。
20	大変興味深かったです。
21	みなさんたくさん質問をしていましたが、敬語をきちんと使用出来ていなかったり、答えの不明な(=何を期待して聞いているのかわからない)質問が多いなど感じました。→課題ですね。(樋口)
22	有意義な時間でした。企画ありがとうございました。住友化学さん以外のスライドもいただけたら助かります。→他の企業さんは資料を渡さないからこそできるリアルで深い話・・・という考え方もあります。通常、このような深い話の場合は配布されませんが、Hi-Systemからの申込者は講義の資料をある程度ダウンロードできる場合もあります。(樋口)
23	企業の方のこれまでの経験や生の声を聞くことが出来てとても面白かったです。
24	講演していただいた講師の方々のキャリアパスが色々だったので企業について無知だった私にとってはとても有意義な時間になりました。

25	会社での苦労話はあまり参考にならず、正直生産性に欠ける時間であった。実状や論理性が感じられる講演を期待していたが残念な面であった（眠気を誘うのも致し方ないだろう）。企業研究のみにとらわれず、国立研究所などの研究者の話も聞きたい。→人材育成本部のミッションや、本講義の主旨が企業の研究開発の実際や企業人生を知る、というところにありますから、これは仕方ないですね。（樋口）
26	2日目のお二人の会社紹介が少し長かった。
27	小規模なので質問もしやすく、講師の方との距離が近く感じた。
28	幅広い企業の人の講演を聞いてみたい。
29	企業だけでなく、公的な機関の話も聞いてみたい。→25番のコメントと同じです。（樋口）
30	講師の方の人選がすばらしかった。
31	面白い話が聞けたと思う、企業の商品に対する思いや熱意を感じられた。
32	企業で研究開発をしている人がどのような研究をしているのか、どのように研究に望んでいるのか知れてよかったです。
33	今回Advanced COSAに参加したのは自分が専攻、研究している数学以外にも視点を広げていきたいと思ったからです。そのため滑り込みで参加する形になりました。講義だけでなく自分でも歩まなければと思いました。会場が暑かったのももう少し快適な場で欲しかったと思いました。→前の方と後ろでは空調の効きかたが異なります。前の方が涼しいのではないのでしょうか？（樋口）
34	話を聞いてよかったと思う。質問の文章をうまく組み立てられていなかったように思う。
35	理系でない分野の話も聞きたい。メーカーだけでなく商社やインフラなど。→過去には理系の商社マン（丸紅の部長）もお呼びしましたが、なかなか接点が作れません。どうしてもメーカーが中心になります。今後の課題です。（樋口）
36	事業部として活躍されている方のお話も聞いて役に立った。
37	大変勉強になりました。もう少し発表内容を統一して欲しいかもしれない。→統一？具体的に？（樋口）
38	企業の失敗例や社会人になっての出来事など、様々な観点で社会を知れた様な気がしました。
39	質疑応答の時間が充実していて面白かった。
40	2日間ではなく3日間にし、1日の時間を少し短くして欲しい。懇親会があって、直接先生や他の参加者と話すことが出来てよかった。→2日間だからこそ、第1日目の終わりに全講師を集めての懇親会を設定できます。みなさん、企業の中で活躍されている超多忙の方々にもかかわらず、このためだけに札幌までやってきていただいています。その企画の裏側にも心を馳せる大きな視点をぜひお持ちください。（樋口）
41	普段聞けない企業のことについて、詳細にお話を聞いてよかった。7月は早いと思う。夏休みくらいにやってほしい。→40番の質問と同じで、超多忙な皆さんの予定や会場の確保などでどうしても今年度はこしかできませんでした。この状況をご理解ください。（樋口）

42	ポリコム中継で函館は常に画面越しなんですけど、講師の方々や樋口先生や人材育成本部の方々の配慮がすばらしかったです。ありがとうございます。また、少し暑くなったときなど、エアコンの調節などしていただけたとよかったです。
43	質問時間を長めに取ってくれているのが良かった。企業の詳しい話もだが、もっと人間性についての話も聞きたい。 <b>→個別に質問してください、先方に送ります。（樋口）</b>
44	様々な分野の企業で働く人の話を聞くことが出来てよかったと思う。ただ、1番はじめに講演した方は声が聞き取りにくかったのが残念だった。他の人に関してはそのように感じなかったので、聴力の問題ではなく声質の問題だと思う。この企業についてはスライドも印刷して配ってくれたし（後で花王も配ってくれたので）聞き手のことをきちんと考えてくれていたのに、この点に関しては残念だったと思う。あと、質問についてだが、人前で話すのが嫌いな人は質問があってもできないし、名前を公表するのめどうかと思う。この点は改善し、成績評価で不利にならないようにして欲しい。それから、質問を必ず書かせるのもやめて欲しい。成績評価はレポートと出席のみにして欲しい。質問の時間も短縮して欲しい。この授業も大切だが、修士の研究の方もあるのでそのことも考慮して欲しい。 <b>→上にも同様のご指摘がありました。この授業は出席とレポートのみで成績をつけます。また双方向の論議を重視するスタンスでもあります。大学院を終了し社会に出たときには「人前で話すのが嫌いだ」では通用しません。自身の業務内容は多ければ毎週、少なくとも毎月はみなの前で発表し、部署全体の指摘などを受けて修正推進する、というのが当たり前の業務スタイルになると思います。（樋口）</b>
45	函館で受講したが、講師との質疑応答時間がこちらでも多く持てたので良かった。夏休み時期に開催されれば札幌で受講し、懇親会に参加することも可能だったので、長期休みで開催して欲しい。
46	有意義な時間となりました。自分は公務員志望ですが、女性の働き方などためになりました。
47	参加前はそれほど興味はなかったが、参加してよかったと思っている。
48	音の質が上がるとより理解しやすかったです。（水産科学院） <b>→これだけは我々も最新の機器を導入したりしていますが、まだまだ課題満載です。（樋口）</b>
49	出来るなら他の授業とかぶらないようにして欲しかったです。 <b>→これも我々ではどうしようもありません。全学共通授業なので、どこかの部局とはどうしても被りますし、先生方のご予定、あるいは会場の確保にも左右されます。事務方の苦勞もご理解ください。（樋口）</b>
50	函館キャンパスは画質も悪く音も聞き取りづらいです。 <b>→何とかしようとしていますが、現状の機器、通信環境ではこれが限界なんです。（樋口）</b>
51	函館からの参加でした。仕方がないことだと思いますが、音声の聞き取りづらさ、画面の乱れ等が重なりお話の内容が良く分からないことが多々ありました。何かしらの改善が望めます。 <b>→22番のコメントにも書きましたが、もう一点、近日中に人材育成本部が保有するシステムからオンデマンドで講義の様子は閲覧可能となります。ご希望の方は「s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp」までまずはご連絡下さい。（樋口）</b>

**[5] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。**

1	理系だから研究職とかではなく、理系だからこそ文系職みたいな話も聞いてみたい。 <b>→以前は理系の商社マンなど招きました。今後も考えますが、候補が極端に少ないのと、主なターゲットが理工系の博士なので、どうしても偏りは出てしまいます。（樋口）</b>
---	--

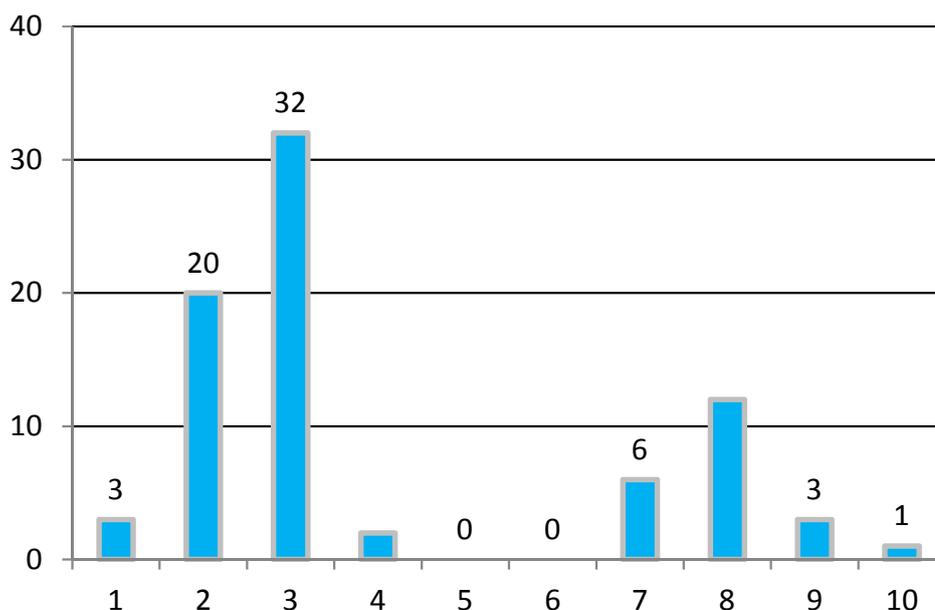
2	修士向けサポートの充実→よく判りますが、人材育成本部のミッションがDC・PDキャリア教育なんです ね・・・。(樋口)
3	企業の実態について知らない、知りにくい我々にその機会となるイベントを提供していただきありがとうございます
4	S-cubicの他の活動内容がよくわかりません。→HPをご覧ください。(樋口)
5	英語に特化した講義があれば参加したいです。→講義はまだ検討中ですが、同じ人材育成本部I-HoPチームの活 動を参考にしてください。(樋口)
6	大変心強いので引き続きお願いします。
7	昨年度Advanced COSA(2)に単位取得のため参加させていただきましたが、みなさんお話をされたことが非常に 近しく勉強になりました。
8	Advanced COSAなどのセミナーは授業と被ってしまい、参加をあきらめた友人もいたので、可能であれば土日開 催にさせていただきたいです。→土日開催も考慮しますが、お招きする講師の方のご事情も考慮せねばなりませ ん。難しいところです。(樋口)
9	ビジネスの勉強として有意義でしたが、研究者の実態はイマイチ掴みかねました。
10	面白いことをやっている中小の話を知りたいです。→今後検討します。別のプログラム・・・例えばキャリ アパス多様化支援セミナーⅢ「起業」などでは現在活躍中のベンチャーの話など準備するつもりです。(樋 口)
11	マスター向けの情報がもう少し欲しい。→よく判りますが、人材育成本部のミッションがDC・PDキャリア 教育なんですね・・・。(樋口)
12	キャリアマネジメントセミナーでのポリコム中継等ありがとうございます。いつも対応や反応が迅速で、安心し て講義を受けています。1つ要望で今回Advanced COSAの中継で、映像は比較的鮮明なのですが音声がかもって いるようで、聞こえにくいことがありました。可能でしたら改善していただくと助かります。→検討課題とし ます。(樋口)
13	講演会において質問のあるなしは成績評価に入れないこと。講演会の時間を短くすること。特に成績評価につい てはレポートと出席のみにし、質問については入れないで欲しい。奨学金の関係もあり、良い成績は必要だが、 一方で質問をするのは嫌いな人もいることを考えて欲しい。こちらに性格を変えるよう求めるよりも、もっとそ ちらで出来ることがたくさんあることを何か考えて欲しいと思う。レポートならばきちんと書いて提出するので 成績評価については考えて欲しい。授業内容そのものをこれから生かすというより、単位と成績を第一に考えて いることを考慮して欲しい。→成績は出席とレポートだけです。ただ教育というものは学生の皆さんの不得意 とすると意識させ、それを改善する手助けをするもの大事なミッションです。この講義は単位を出すた めの最低限の時間で構成していますので時短はできません。また双方向の論議を重視するという文科省の方針 もあり、こうしないと講義の価値が低く査定されます。さらに社会に出たときの皆さんの活躍する力をつける のがこのキャリア教育の目標でもあります。ですから単に単位だけを目指してこの講義を聴講することはお勧 めしません。別の専門科目で充足することをお勧めします。
14	DC・PD対象のセミナーが多いので、MCが気軽に参加できるセミナー数を増やして欲しい。
15	S-cubicのことはまだよく理解していません。
16	英語のやつUIをもう少しよくして欲しい。ただただ地味。→ご要望の意味がわかりませんか？(樋口)
17	今回のような講演会等がある際、水産の管理研究棟だけでなく、他の研究棟にもピラを置いて欲しいです。普段 管理研究棟に出入りすることがほとんどないので情報に格差を感じます。→次回から対応いただくよう、水産に 協力依頼済みです。(樋口)
18	働く方の生の声をお聞きできる貴重な機会を作っていただきありがとうございます。可能であれば授業が開講さ れている期間外で開催していただければ水産の方ももっと多く学生が参加できたと思います。→夏季休業中や週 末なども考えていますが、全てのスタッフの予定、もっと言えば会場の確保や講師の先生のご予定も全部あわ せてこのスケジュールが決まります。状況をご理解頂ければと思います。(樋口)

- 会場全体の音を拾うマイクではなく、講演者がもつマイクを直接ポリコムにつないで欲しい。（会場に反響してしまい、早口、抑揚のない発生は聞き取ることが出来ませんでした）→次回検討します。（樋口）
- 19 男性トップ、女性雑務の縮図がそのままS-cubicのカラーになっていると思ってます。若い女性陣が多いようですが、その方々にもライフバランスの考え方を聞きしてみたいかがでしょうか。ぜひ世代間の違いを体感してください。→よく意味が判りませんが、人材育成本部長は女性（望月教授）ですし、他のチーム（協力している三大学連携のCOFRE）の教授は女性（A-GOSAIに参加されていました）です。講義をカバーしてくれているスタッフは全員がS-cubicではなく3名だけで、半分以上、他の5名は他のチーム（COFREやI-HoP）所属です。人材育成本部全体でお互い助け合っています。また授業のスタッフは全員非常勤で任期つきの特任教員や事務補佐員か技術補佐員で構成されています。正規教職員はいません、私を含めて。彼女たちは（世代交代で今はたまたま若い人たちが採用されていますが）私の娘の世代ですので世代間の違いは実感しています。（樋口）

## H28年度 Advanced COSA (1) クリッカーアンケート/グラフ

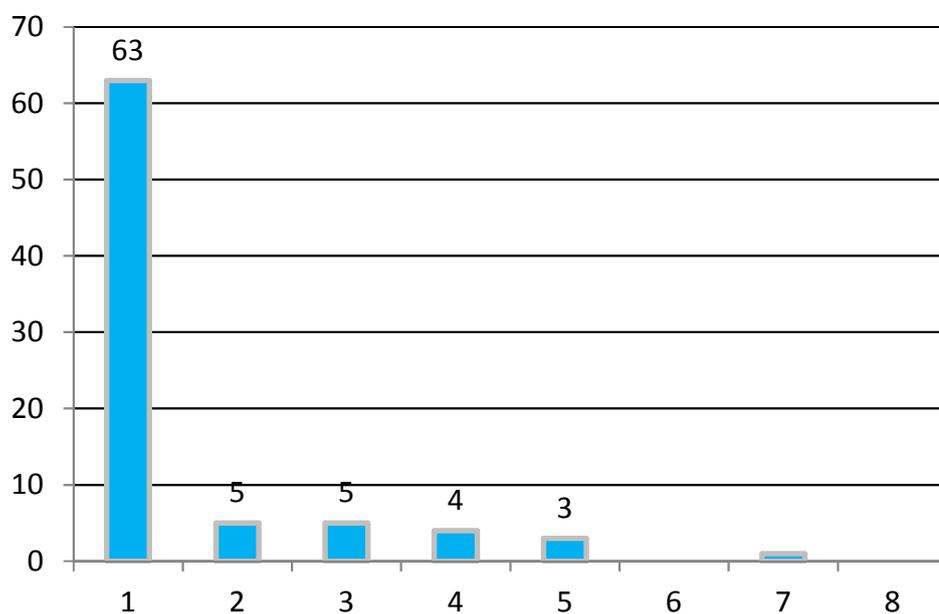
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院  
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院  
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



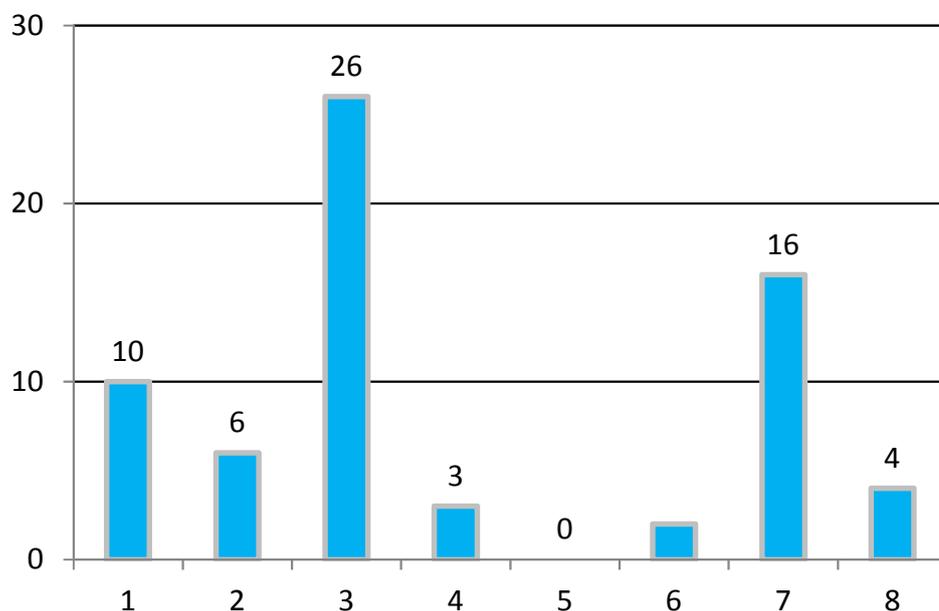
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



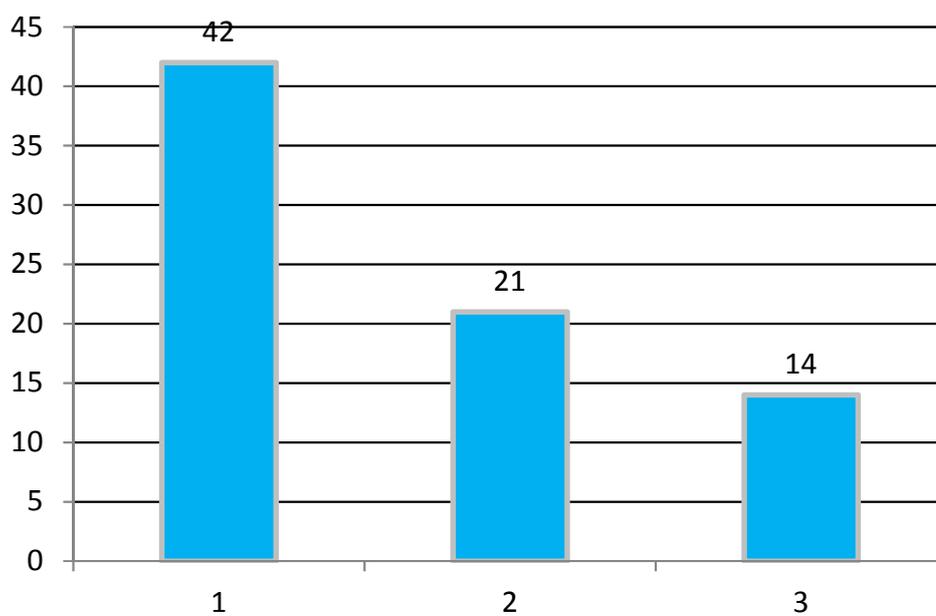
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



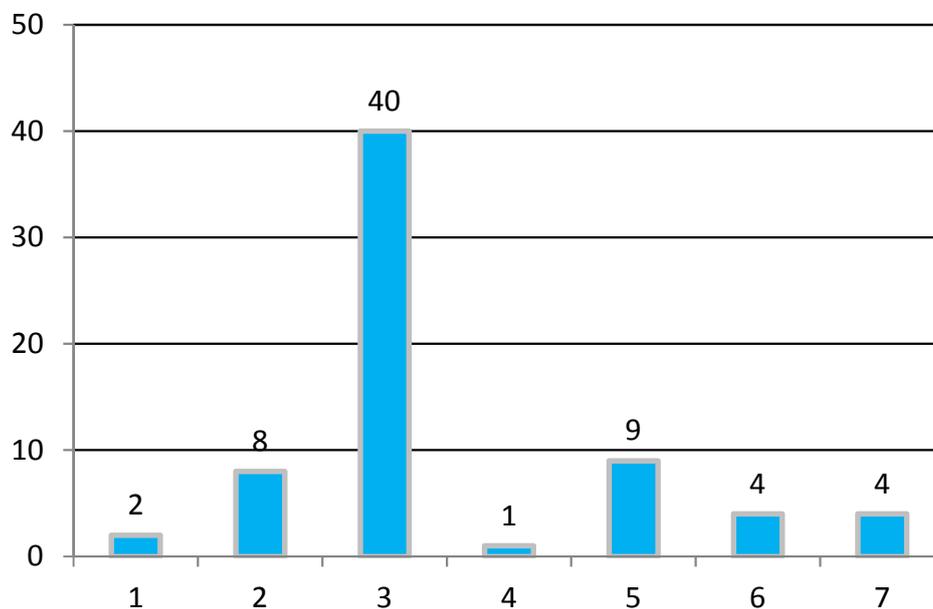
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



### [5] どのような分野への就職を希望しますか？

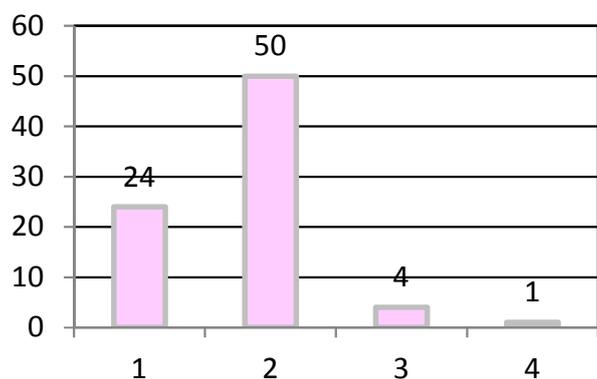
- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他  
6.今は考えていない 7.企業



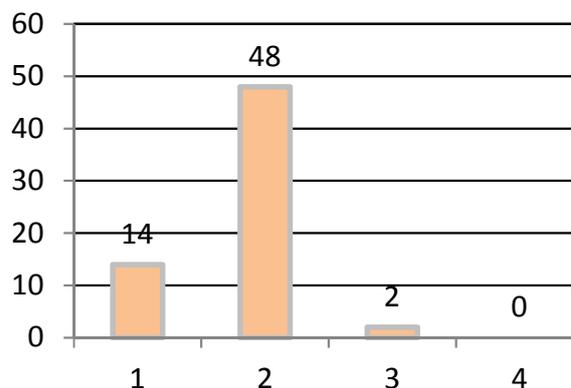
### [6] どのような分野の企業に就職したいですか？

- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない

#### <受講前>



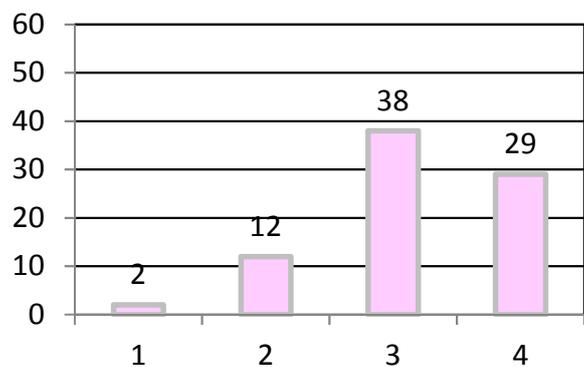
#### <受講後>



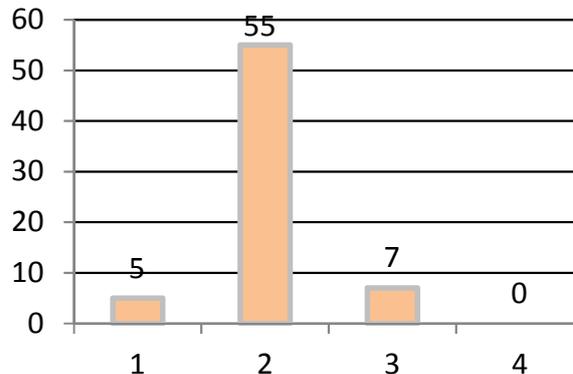
**[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？**

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

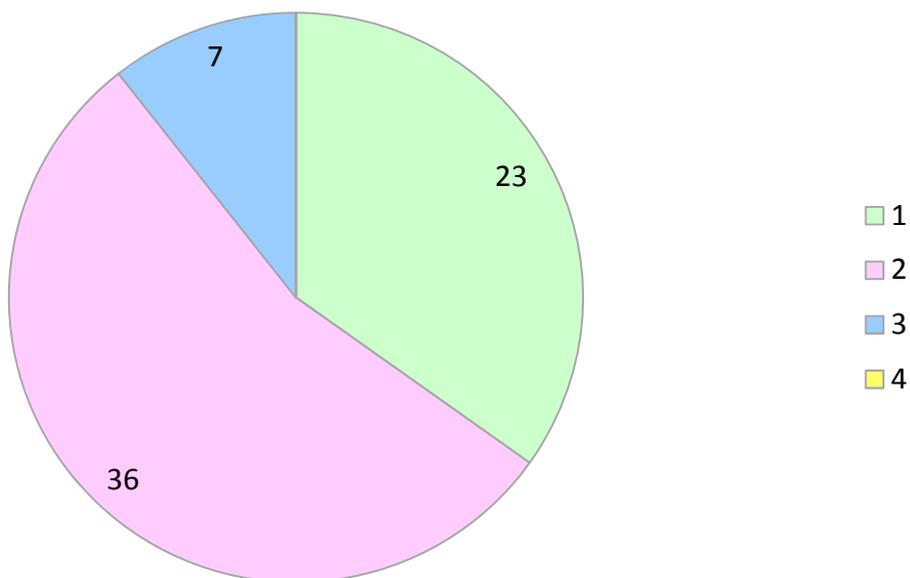


<受講後>



**[8] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？**

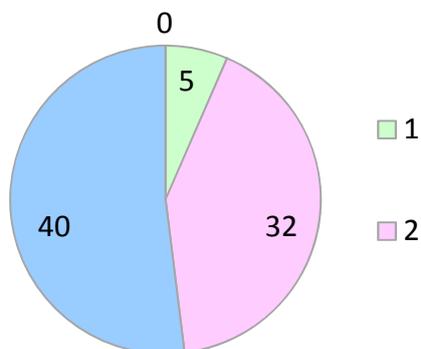
- 1.大変興味深くおもしろい 2.ある程度は興味を感じた 3.あまり興味がわかなかった  
4.全く興味がわかなかった



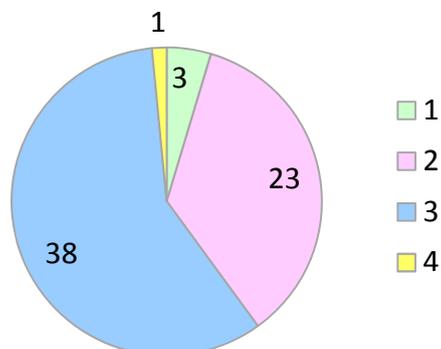
[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

- 1.あくまで自分の専門分野 2.科学技術分野なら何でも 3.事業やスタッフでもOK  
4.科学技術系以外の業務を

<受講前>

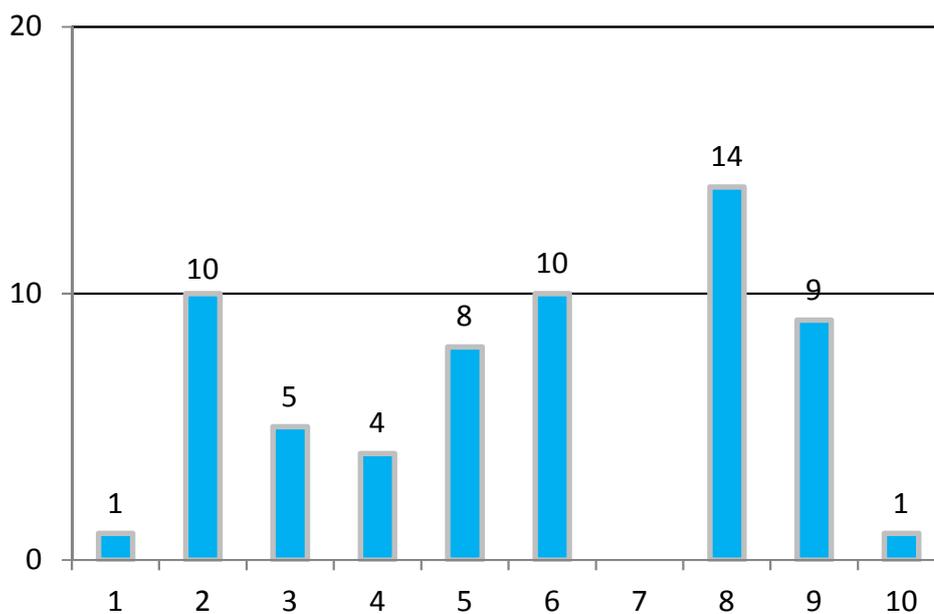


<受講後>



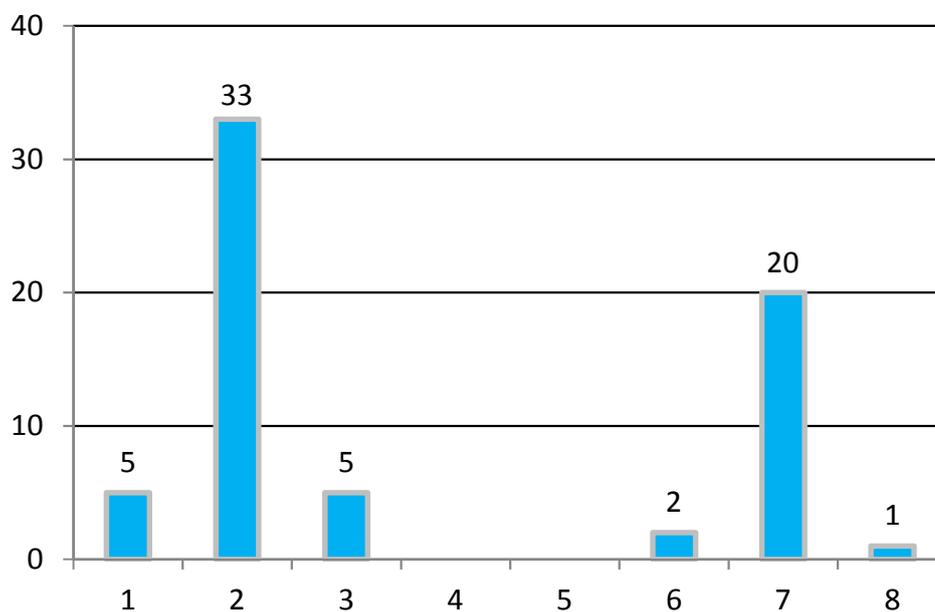
[10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

- 1.教員からの情報 2.友人/知人情報 3.S-cubicのホームページ 4.S-cubicからのメール  
5.掲示板ポスター/ちらし 6.シラバス 7.食堂の三角/蒲鉾POP 8.大学院入学式ガイダンス  
9.他の講義での紹介 10.その他



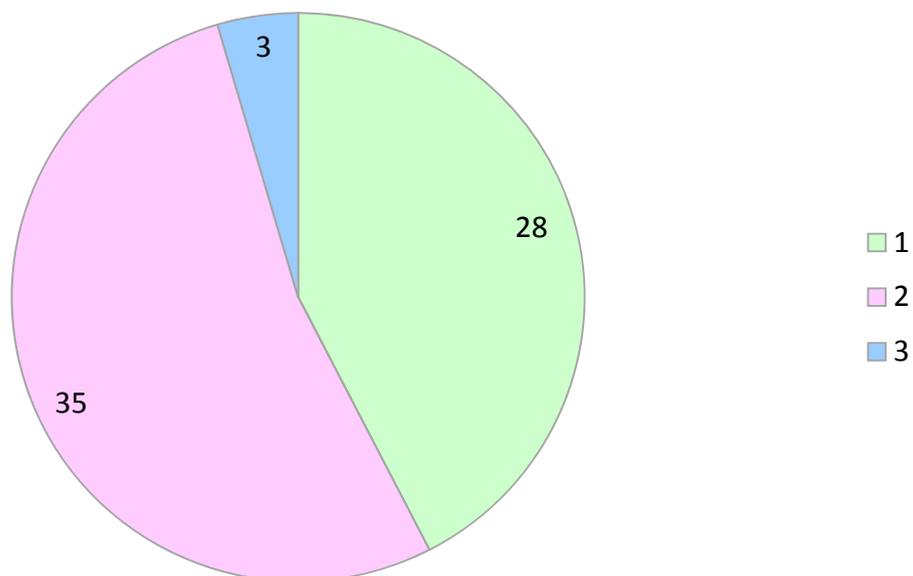
### [11] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業が参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい  
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



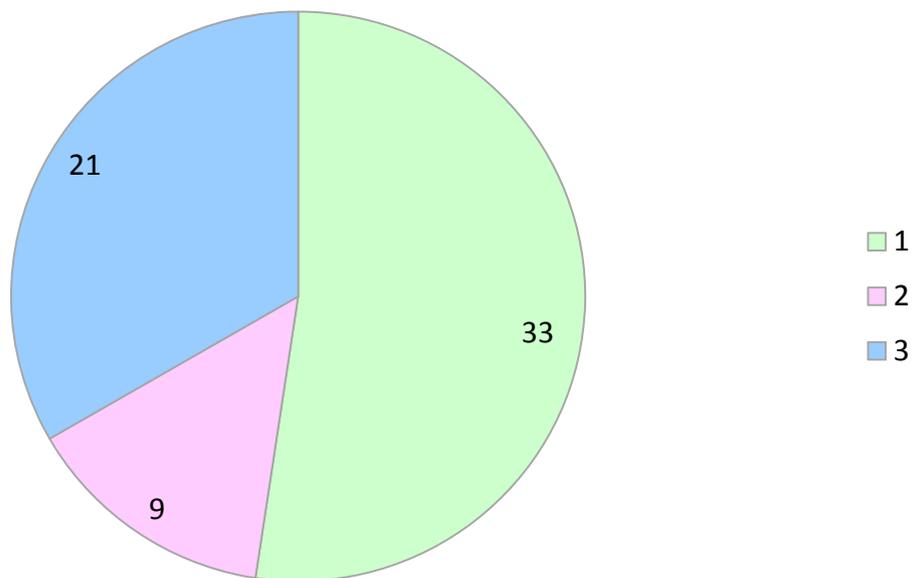
### [12]A-COSAにまた参加したい？

- 1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



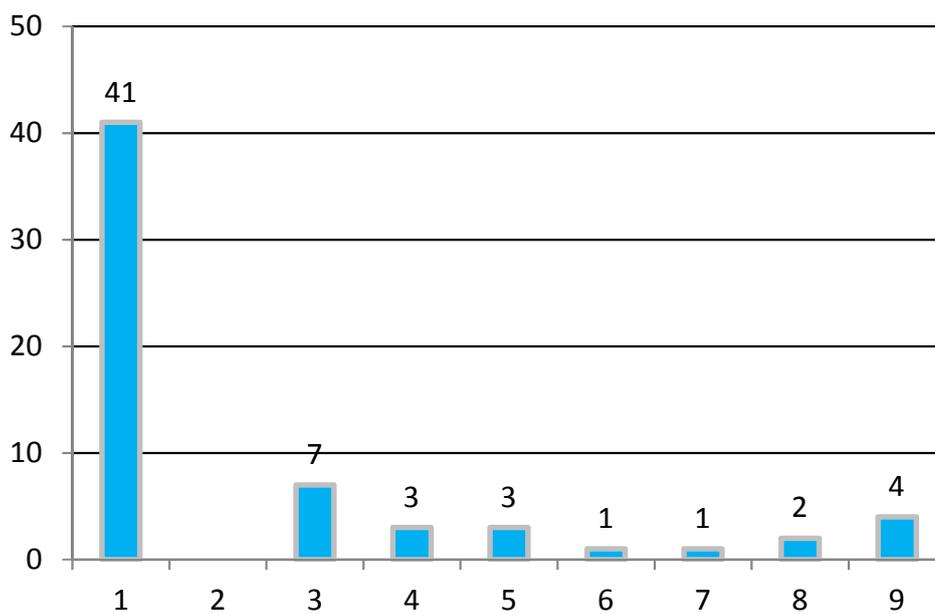
[13] このようなセミナーの開催希望日時は？

1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも



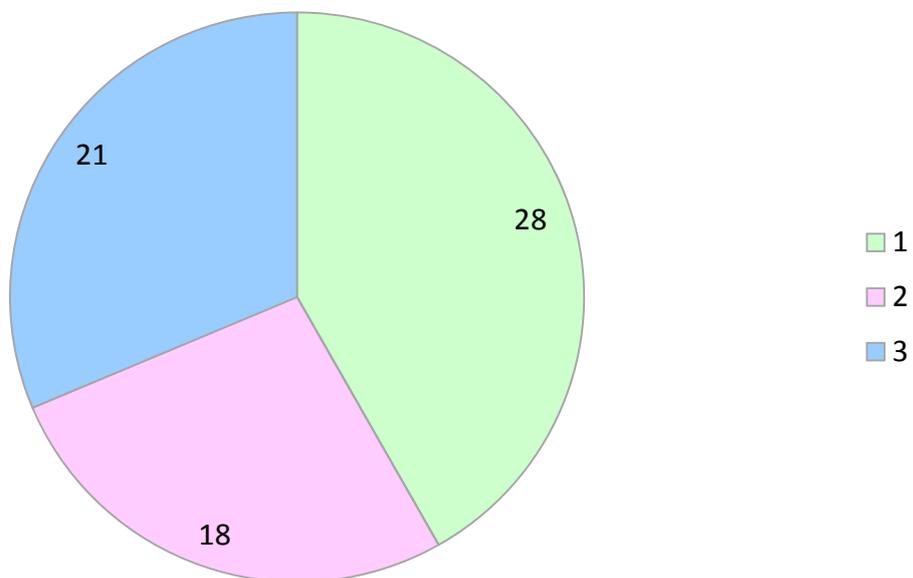
[14] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤  
8.フロンティア 9.その他



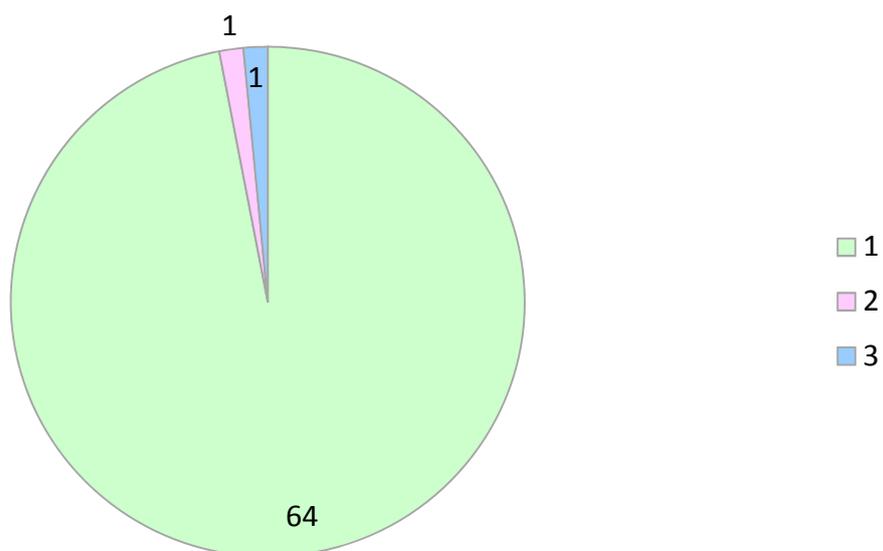
[15]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[16]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

- 1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー  
9.その他

